

香川県広域水道企業団 水道事業 地区別意見交換会 議事録

高松ブロック統括センター

開催日時	令和6年12月11日（水） 10：00～11：45
開催場所	香川県広域水道企業団 601・602会議室
出席者	委員13名 企業団職員10名
傍聴者	申し込みなし、受け入れなし
内 容	1 開会 2 議題 （1） 令和5年度水道事業決算の概要について （2） 水道料金の統一化について （3） 水道施設の耐震化状況について （4） その他事前に頂いた質問に対する回答 3 閉会

要 旨

	1 開会 所長が挨拶を行う。 2 議題 （1） 令和5年度水道事業決算の概要について
委 員	企業団から説明を行う。
企業団	「財政収支について、他事業体の収支も把握しているのか。事業体別に、赤字の場合どうなるのか。」
委 員	「他事業体の収支も把握している。令和9年度末時点の企業債残高が給水収益の3.5倍以内、内部留保資金が給水収益の0.5倍程度となるようにすべての事業体が運営しており、不足するようであれば、市町からの繰入金等で対応している。また、施設整備に当たっては国の補助金を有効活用している。」
委 員	「事業体別の収支は公表されているのか。ホームページで確認できるのか。」
企業団	「ホームページに掲載している。企業団議会の資料で事業体別の収支を確認することが可能である。」
委 員	「香川県は水道事業にどれだけ関わっているのか。」
企業団	「香川用水を水源とする水道用水供給事業を行っていたが、企業団が承継している。現在は水道行政を所管している。」
委 員	「ほとんどの事業体で赤字が出た場合、高松事業体がカバーしているように感じる。」
企業団	「令和9年度末時点の企業債残高や内部留保資金の目標がある一方で、施設の更新や耐震化も進めていかなければならない。財政が厳しい事業体は、料金の値上げや、市町からの繰入金を受けている状況である。」

委 員 企業団	(2) 水道料金の統一化について 企業団から説明を行う。 「新たに引っ越して入居する場合も加入金を支払う必要があるのか。」 「加入金は、建物の新築時等にお支払いいただくものであり、入居者が出入りする際は必要ない。」
委 員 企業団	「既に水道を使用している場合や家を壊して引っ越した場合、次の人は支払う必要がないという認識でよいか。」 「水道工事で新たに水道を引く場合等に必要で、人に対してではなく、土地に対して支払うものと考えていただければよい。」
委 員 企業団	「人件費や資材費などの高騰の一方で、給水人口が減っているということは利益が減るわけで、施設更新も含めて大変な状況だと思う。企業団ができて7年目となり、組織体制ができてきたと思うが、技術職が少なく、現場を委託業者に任せるのが延々と続くのは困った状況になると思う。令和10年度まであと3年くらいなので、厳しい状況を見据えて検討してほしい。」 「施設整備計画や財政収支計画を見直しながら料金設定を検討する計画があるので、今後の進捗を見守っていただきたい。」
委 員 企業団	「公平性を担保するためには、湯屋用などの特例はなるべく廃止したほうがよい。」 「事業体間のほか、大口使用者、家庭用、一戸建てと共同住宅など、色々なところで公平性を確保するというのが課題になると思うが、できる限り納得いただけるような料金設定に取り組む予定である。」
委 員 企業団	(3) 水道施設の耐震化状況について 企業団から説明を行う。 「国土交通省が実施した緊急点検結果について、香川県の取水施設の耐震化率2%に香川用水は入っているのか。」 「香川用水が企業団の取水施設ではないということで、除外されている。香川用水など耐震化が進んでいる施設を含むと、約6割程度になると聞いている。」 「緊急点検結果で、重要施設に接続する管路の上下水道両方が耐震化されている割合は、香川県は0%という報道がされたが、高松BCも0%ということか。」 「高松BCも結果として0%である。高松市立みんなの病院については、上水道施設は耐震化率100%であるが、下水道区域外のため、今回の結果には含まれない。下水道区域の内外にかかわらず、重要給水施設を設定して耐震化を進めており、高松BC内の重要給水施設である高松赤十字病院、香川大学医学部附属病院は、今年度、耐震化工事に取り組んでいる。平成26年に移転した県立中央病院は、一部道路や浄水施設以外の可能な範囲は、周辺の基幹管路も含め、耐震化工事を行っている。」

(4) 事前に頂いた質問に対する回答について

事前に委員から質問のあった「有機フッ素化合物（PFOS及びPF0A）の測定結果」などについて説明を行う。

3 閉会